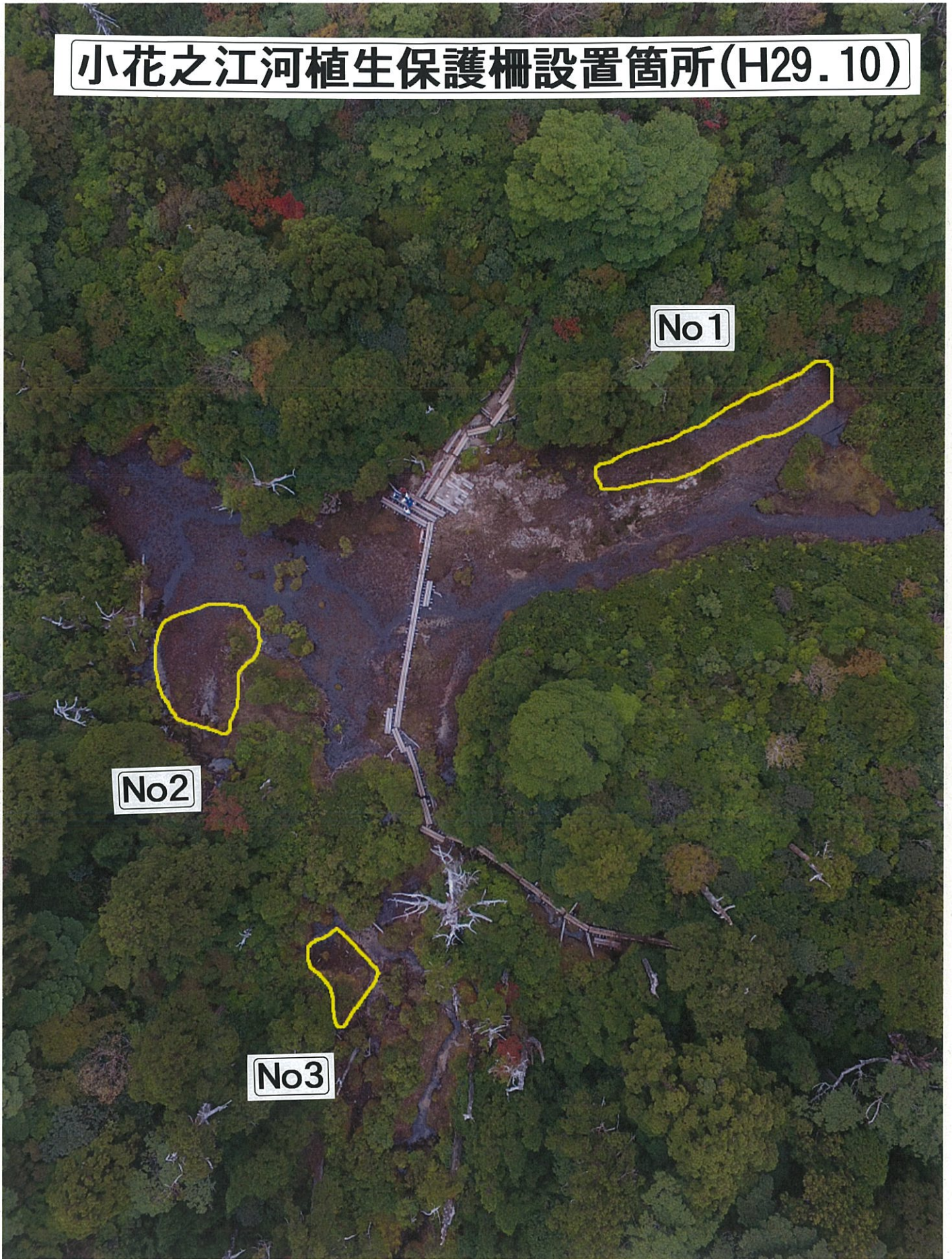


平成 29 年度森林生態系モニタリング調査等実施状況

1. 屋久島中央部地域（宮之浦岳）の垂直方向の植生モニタリング調査
大王杉生育地の標高 1,200m 地点から宮之浦岳山頂付近の標高 1,936m 地点までに設定している既設調査プロット（標高地点別プロット 6 箇所、植物相調査地点 7 箇所、林冠ギャップ地点 5 箇所）において植生調査を行い、調査結果を取りまとめ、今回と過去 3 回（平成 14・19・24 年度）との調査結果を比較・分析し、動態予測を行い評価した。
2. 高塚山下層植生衰退箇所保護対策及び設置後の植生回復調査
平成 28 年度モニタリング調査にて報告された高塚山（宮之浦嶽国有林 221 い林小班）における下層植生衰退について、調査結果を踏まえた植生保護柵及び保護対策を実施し、その後の植生回復調査結果について取りまとめる。
3. 高層湿原（小花之江河）植生保護柵設置及び設置後の植生回復調査
これまでのモニタリング調査等の結果、科学委員会の助言等を踏まえ、植生保護柵を設置（別添設置箇所写真参照）し、設置後の植生回復結果を取りまとめる。なお、冬期における設置状況の確認のため、必要に応じて保護柵の補修、点検を行う。
4. 縄文杉大枝等健全度調査並びにケーブリング設備の撤去
平成 24 年度に屋久島世界自然遺産のシンボリック的存在である「縄文杉」の大枝に腐朽が見つかり、平成 24 年度及び平成 25 年度に設置したケーブリング設備について平成 28 年度までに既設デッキの撤去及び新設デッキの設置が完了したことから、縄文杉大枝に設置されているケーブル、アンカー等の設備を撤去した。併せて、縄文杉大枝部の腐朽度を含めた健全度調査（音響波計測診断機器（ドクターウッズ））を実施した。
5. 著名ヤクスギ樹勢回復措置及び樹勢診断
大王杉：樹勢回復措置の一環として樹幹内部への雨水や表面流水等を防止するため上部に編柵工の設置
愛子杉：樹木医による樹勢診断
6. 外来種「アブラギリ」駆除の実施
黒味国有林 11 林班 10.00ha
黒味国有林 14 林班 5.00ha
7. 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査（林野庁）

小花之江河植生保護柵設置箇所(H29.10)



小花之江河植生保護柵設置狀況



NO1 設置前



NO1 設置前



NO1 設置後



NO1 設置後



NO1 設置後



NO1 設置後



NO2 設置前



NO2 設置後



NO3 設置前



NO3 設置後